

●本リリース(全1枚)は、大分県政記者クラブ・別府市政記者クラブ加盟各社に送信しています。

イベント告知／取材案内

Shape your world



報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学
2012年10月12日
APU リリース 2012-37

「世界報道写真展2012」大分会場 開催のご案内

期間:2012年11月4日(日)~11月18日(日)

会場:立命館アジア太平洋大学 本部棟2階 コンベンションホール

立命館アジア太平洋大学(以下APU)は、11月4日(日)~18日(日)の期間、APUコンベンションホールにおいて、世界中のカメラマンによる優れた報道写真170点を展示する「世界報道写真展2012」を開催いたします。

「世界報道写真展」は、毎年4月のアムステルダムでの開幕を皮切りに、世界45カ国・地域、約100都市にて巡回展示されています。この「世界報道写真展」の大分会場は、九州では唯一の展示会場となり、APUで開催されるのは、今回で11回目となります。

APUでは、多くの子供たちにも見ていただきたいという趣旨で、高校生以下を無料としています。

「世界報道写真展」は、オランダのアムステルダムに本部を置く世界報道写真財団が、1956年から毎年開いている「世界報道写真コンテスト」の入賞作品を展示するもので、今年で55回目を迎えます。

今年の入賞作品は、世界124カ国・地域、5247人の報道カメラマンが応募した10万1254点の写真から選ばれました。大賞には、中東のイエメンで反体制デモの最中に傷ついた息子を抱きかかえる女性を写した、サムエル・アランダ氏の作品が選ばれました。そのほか、中東、北アフリカ各国での民衆運動やノルウェーでの大量殺人事件、密漁によって角を狩られるサイなど、貴重な記録であると同時に見る者に強く訴える作品ばかりです。

また、今回は東日本大震災の爪痕を撮影した作品も多数入賞しました。日本人では、恒成利幸氏(朝日新聞社)、手塚耕一郎氏(毎日新聞社)、千葉康由氏(AFP通信社)の3名が入賞を果たしています。

「世界報道写真展2012」大分会場 開催概要

期 間:2012年11月4日(日)~18日(日) 会期中無休

時 間:10:00~17:00(入場は16:30まで)

会 場:立命館アジア太平洋大学(別府市十字原1-1)
本部棟2階 コンベンションホール

参観料:大人500円/高校生以下無料

主 催:立命館大学国際平和ミュージアム、立命館アジア太平洋大学、朝日新聞社、世界報道写真財団

後 援:オランダ王国大使館、公益社団法人日本写真協会、公益社団法人日本写真家協会、大分県、別府市、大分県教育委員会、別府市教育委員会、NHK大分放送局、大分合同新聞社

協 賛:キャノンマーケティングジャパン株式会社、別府商工会議所、社団法人別府青年会議所

協 力:大分交通株式会社、亀の井バス株式会社



世界報道写真大賞2011
サムエル・アランダ(スペイン)
ニューヨーク・タイムズ紙向け

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室(広報担当)担当:安岡、桜井

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 Fax:0977-78-1113 E-mail:r-apu@apu.ac.jp

住所:〒874-8577 大分県別府市十字原1-1